|  |
| --- |
| 説　明　書　　本研究は大分大学医学部倫理委員会で審議され，大分大学医学部長の許可を得ています。倫理委員会では「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき，外部委員を交え，倫理的・科学的観点から審査を行います。**１．研究の名称**　　　慢性骨髄性白血病（CML）患者における分子標的治療薬（イマチニブ・ニロチニブ・ダサチニブ・ボスチニブ・ポナチニブ）の薬物血中濃度解析に関する研究**２．研究の目的及び意義**現在、慢性骨髄性白血病（Chronic myelogenous leukemia：CML）治療の第一選択薬となっている分子標的治療薬グリベック®（イマチニブ）、タシグナ®（ニロチニブ）、スプリセル®（ダサチニブ）、ボシュリフ®（ボスチニブ）、アイクルシグ®（ポナチニブ）ですが、これらのお薬の効き易さ・効き難さには個人差があることが知られています。また、胃腸障害や、発疹、筋肉の痛み、血液障害など副作用により治療を中断せざるを得ないこともしばしばあることが知られています。その理由として、同じ量のお薬を服用しても、これら分子標的治療薬の血液中の量が、患者さんによって多かったり、少なかったりと個人により差があるためではないかと考えられています。このように、これらお薬の血液中の量と、その効果や副作用の種類、頻度の関連性を調べることは、効率的で有効な治療を行うために非常に重要なことですが、現在までそのような調査はあまり行われていないのが現状です。本研究では、グリベック®（イマチニブ）、タシグナ®（ニロチニブ）、スプリセル®（ダサチニブ）、ボシュリフ®（ボスチニブ）、アイクルシグ®（ポナチニブ）を服用中のCML患者さんにご協力を頂き、これらの血液中薬物濃度データを集め、治療効果及び副作用発現の個人差と比較し、効果や副作用が血液中濃度の違いによって予測可能かどうかを検討します。なお、この研究は、すでに十分な審査を受けて有効性のある治療薬として承認された医薬品を対象としており、ご使用の医薬品の有効性を再評価するものではありません。**３．研究方法及び期間**　　　【研究方法】本研究では、まず血液検査の際に、1回2ml（血漿用）の採血を行います。採血は主にお薬の服用直前に行い、外来受診日の採血の場合は、分子標的治療薬のみを服用せずに持参し、院内で採血後に服用して頂きます。その後、血液中の薬物濃度を測定します。また、本研究を解析するにあたり、観察・検査項目として背景因子や併用薬、各種検査項目（体重、体温、血液検査、血液生化学検査、尿検査）、臨床効果、有害事象などの情報を電子カルテより参照し、用います。　　　【研究期間】　　　　　倫理委員会承認日　～　平成32年3月31日まで**４．研究対象者として選定された理由**　　　　　なし**５．研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益**本研究のための採血は血液検査と同時に実施されますので、健康的リスクや治療への不利益はありません。**６．遺伝的特徴に関する重要な知見**　　　　　なし**７．健康被害に対する補償および賠償**　　　　　本研究のための採血は血液検査と同時に実施されますので、健康的リスクや治療への不利益はありません。**８．研究への参加は自由であること** 　　　　本研究にあなたが参加するか否か（血液検査の際に採血した血液を研究に使うこと）はあなたの自由です。また一度参加すると決めて同意書をご提出いただいた後もいつでも撤回できます。同意されても同意されなくても、当院では同じように最善の医療を提供いたします。 **９．個人情報等の取扱い**　　　　　研究試料や診療情報は、解析前に住所、氏名、生年月日を削除し、符号を付して匿名化することにより個人の特定が出来ないようにします（連結可能匿名化）。対応表は研究責任者が鍵の掛る場所で厳重に保管します。なお、得られたデータは学会や学術雑誌で発表する以外の目的には研究組織以外には公表しません。また、発表の際には、氏名、生年月日等のような個人特定が出来ないようにプライバシーに配慮します。**10．試料および情報の保存**【試料】　保存方法：被験者から得た生体試料は附属病院薬剤部試験研究室内の冷凍庫に保管し、測定以外には一切用いません。　期　　間：5年間（倫理委員会承認日　～　平成32年3月31日）　廃棄方法：全ての試料は測定終了後、匿名化を行った上で破棄します。【情報（研究に用いられる情報に係る資料を含む）】　保存方法：附属病院薬剤部試験研究室内で厳重に保管し、その情報は本試験以外には用いません。　期　　間：5年間（倫理委員会承認日　～　平成32年3月31日）　廃棄方法：匿名化を行った上で機密文書として破棄します。**11．研究資金**　　　　　本研究は、大分大学医学部附属病院薬剤部基盤研究費を用いて実施します。本研究を実施するに当たって、通常の診療費以外に患者さんに特別な費用負担はありません。**12．本研究に係る利益相反**　　　　　本研究は、公的な資金である大分大学医学部附属病院薬剤部基盤研究費を用いて実施する研究であり、特定の営利に関わるものではありません。したがって、本研究に関わる全ての者が、本学利益相反マネジメントポリシーに抵触する利益相反を有しません。**13．相談等の対応**　　　【相談窓口】　　　　担当者氏名：中原　良介　　　　連　絡　先：大分大学医学部附属病院薬剤部　　　　　　　　　　電話　097-586-6426【公開先】　　　　大分大学医学部附属病院薬剤部ホームページ　　　　URL：http://www.med.oita-u.ac.jp/yakub/tki.html**14．取得した試料・情報の将来の研究利用**いずれかに☑　　　　☑なし　　　　□あり（　　　　）**15．研究に関する情報公開**　　　　研究対象者の求めに応じ，他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料の情報公開を行う。資料の入手又は閲覧の方法は上記の相談窓口へ問い合わせいただく。**16．研究組織**　　【本学（若しくは本院）における研究組織】　　　研究責任者　　大分大学医学部附属病院薬剤部　薬剤主任　中原　良介研究分担者　　大分大学医学部附属病院薬剤部　薬剤師　炭本　隆宏研究分担者　　大分大学医学部附属病院薬剤部　副薬剤部長　佐藤　雄己研究分担者　　大分大学医学部附属病院薬剤部　薬剤部長　伊東　弘樹研究分担者　　大分大学医学部附属病院腫瘍・血液内科　講師　緒方 正男主 治 医 氏 名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研究責任者氏名　　中原　良介　　　　　　　　　　　　　　連　　絡　　先　大分大学医学部附属病院薬剤部　　　　　　　　（電話）　097-586-6426　　　　　　　　　 |
| 同 意 書大分大学医学部長　　殿私は，「慢性骨髄性白血病（CML）患者における分子標的治療薬（イマチニブ・ニロチニブ・ダサチニブ・ボスチニブ・ポナチニブ）の薬物血中濃度解析に関する研究」について，（ 主治医氏名 ） から下記の事項について十分に説明を受け，本研究について十分理解し，みずからの自由意思に基づき，研究に参加することに同意いたします。記１．　研究の名称２．　研究の目的及び意義３．　研究方法及び期間４．　研究対象者として選定された理由５．　研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益６．　遺伝的特徴に関する重要な知見７．　健康被害に対する補償および賠償８．　研究への参加は自由であること９．　個人情報等の取扱い10．　試料および情報の保存11．　研究資金12．　本研究に係る利益相反13．　相談等の対応14．　取得した試料・情報の将来の研究利用15．　研究に関する情報公開16．　研究組織平成 年 月 日同 意 者 氏 名 　 ㊞（本人）※ なお，本同意書は２部作成し，双方にて保管する。 |